

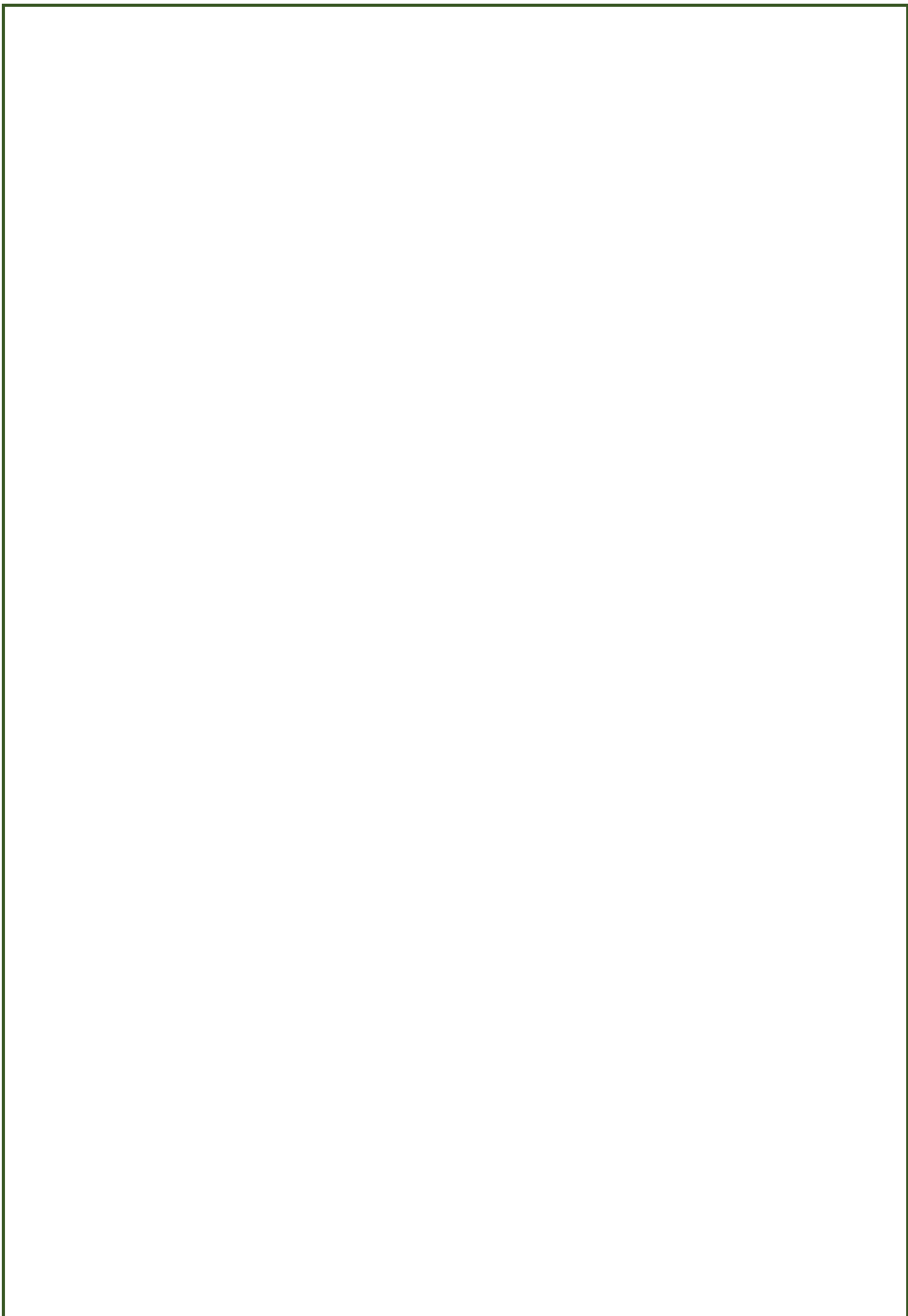
# 第5次檜枝岐村総合計画

## 前期基本計画【概要版】

令和7年度（2025年度）～令和11年度（2029年度）



村民一人ひとりが幸せな村づくり



# 総合計画ってどんな計画？

## 檜枝岐村がめざす むらのかたちとそこにたどり着くまでの「道しるべ」

総合計画は檜枝岐村がめざすむらのかたちと、そこにたどり着くための「道しるべ」となる村のとても大切な計画です。

令和7年度（2025年度）から10年間における村の取り組みは、この第5次檜枝岐村総合計画のもと進められます。

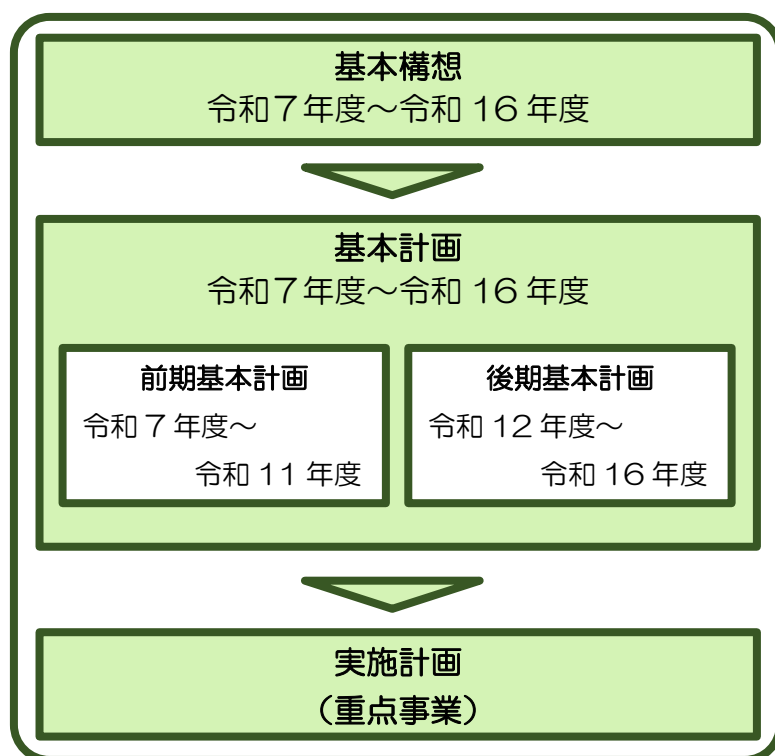


## 総合計画は 基本構想・基本計画・実施計画の3層でつくられています

総合計画は、村の10年後の目標を示した「基本構想」、基本構想を実現するための「基本計画」があり、これは進んでいる道、進むべき道が間違っていないか、ということを考えるために前・後期の2期に分けています。この基本計画に基づいて年度ごとの具体的な取り組みを示した「実施計画」でつくられています。



### 第5次檜枝岐村総合計画



# 檜枝岐村の現状と主な課題ってどんなもの？

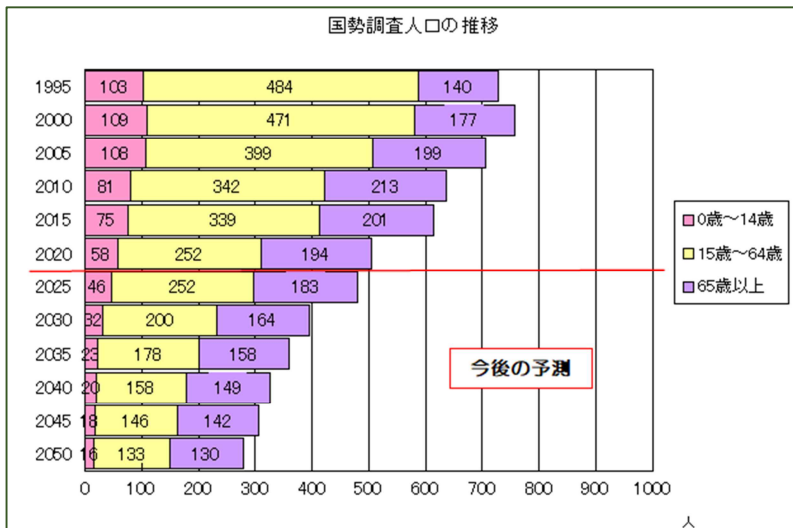
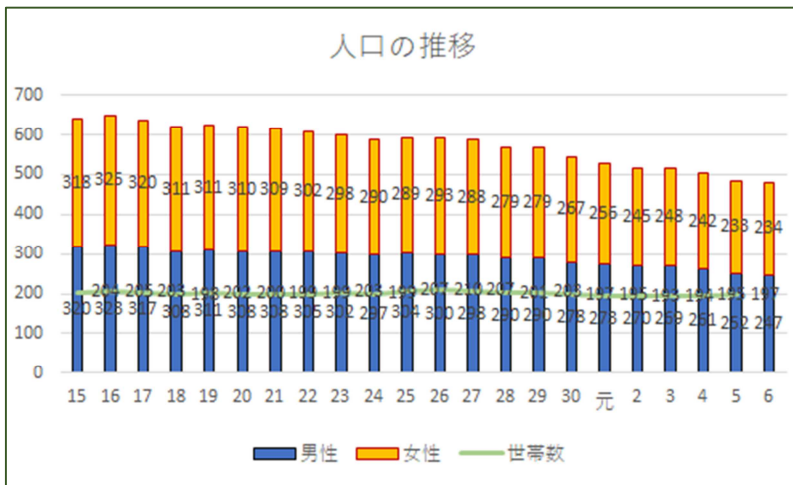


## 1. 少子高齢化で村民が減っている

○村の人口は昭和 41 年度（1966 年度）の 893 人をピークに減っていて、平成 16 年度と平成 26 年度の減少数が 62 人であったことにに対し、平成 26 年度と令和 6 年度は 105 人の減少と、ここ 10 年でさらに村民の減少が進んでいます

○65 歳以上の村民は年々増えており、今後村民の半数近くが 65 歳以上となることが予想されます

○この傾向が続けば、25 年後の 2050 年には人口 276 人、65 歳以上の割合が 47%（国立社会保障・人口問題研究所推計値）となり、これまで村として出来たことや続けてきたことが出来なくなることが予想されます





## 2. 今の建物や道路などを維持することにとってもお金がかかる

- これまで奥只見ダムの固定資産税などで「裕福な村」と言われてきましたが、固定資産の価値や人口が減ることにより税金など入ってくるお金が減り、国内外のさまざまなことが原因となり、出ていくお金が増えています
- 村が管理する公共施設（建物、道路、水道・下水・温泉の管路など）が老朽化しており、それを直したり、新しくすることにお金がとてもかかり、すべてを今までどおり維持することが難しくなっています



## 3. 産業である観光業の元気がなくなっている

- 観光業の事業者数は平成9年ごろをピークに徐々に減少し、現在はピーク時の半分以下となっていて、今後も事業者の高齢化や後継者がいないことなどにより減少することが予想されます
- 観光業を支えるための温泉や特産品生産をはじめとした村の取組みも、人手不足や機械の更新などに対するお金がかかり、観光事業者の期待に応えられていません

# その課題を村はどう解決していくの？

村民一人ひとりが幸せと感じてもらえるよう  
目標をもってみんなで一緒に考え  
行動します

村がかかえている課題はいろいろとありますが、課題とは解決することで未来がより輝くチャンスでもあります。

今回の計画はこれまでの計画とは違い、「行政は村民の幸せを支えるもの」ということを考え、各課、事業所において基本構想である「村民一人ひとりが幸せな村づくり」に向けた基本的な目標をもち、実現すべき取組みを進めていきます。

## ■ 総務課の取組み

目指すべく 10年後の村のかたち

### 村民一人ひとりが安心して暮らせる村

「安心して暮らす」ということは防災、防犯だけでなく、村の財政や村の将来まで不安が少ない状態であるということです。自然災害が頻発している現代において、村ならではの防災対策、国内外の情勢不安を乗り越える安定した行政経営、全国的な人口減少が進む中での魅力的な地域づくりによる持続可能な村づくりを目指して、村民一人ひとりが安全・安心して暮らせる村づくりを目指します。



## ■住民課の取組み

目指すべく 10年後の村のかたち

### Walking brings happiness（歩くことは幸せをもたらす）

村が目指す健康とは、単に持病がないとか身体が弱くないというだけでなく、身体的・精神的・社会的にとっても良い状態（ウェルビーイング）です。人それぞれ



ゆさん処「ちよっくり」

それぞれ違う価値観の中で、それぞれが自分にとっての良い状態や満たされた状態（幸せ）が継続して実感できることによりウェルビーイングが作られます。今回の計画では健康維持に必要な『歩く』をテーマとして村民一人ひとりのウェルビーイングを目指しています。

## ■観光課の取組み

目指すべく 10年後の村のかたち

### 「選ばれる地域づくり」を通して持続可能な観光地へ

宿泊施設の減少等により、観光業の環境は大きく変化しています。従来は入込数を重視していましたが、村全体の人手やキャパシティが著しく低下していることから、高単価・価値重視型への転換など、誘客のあり方も見直す必要があります。観光資源の持続可能な管理や既存資源のリブランディング、規模に合った効率的な運営によって短期的な量的拡大から脱却し、収益性を高めることで、地域資源や住民生活を尊重した持続可能な観光へのシフトを促進します。



インバウンド向けスキープランのモニターツアー

## ■産業建設課の取組み

目指すべく 10年後の村のかたち

**インフラメンテナンスで長寿命化！**  
～安全かつ安心して暮らせる村を目指して～

高度成長期に一斉に整備されたインフラ等（道路、水路、村営住宅、水道、下水道など）が高齢化し、更新や修繕を実施する時期にきています。ただ単にこれまで同じものに更新するのではなく、機能縮小（ダウンサイジング）または適切かつ計画的にメンテナンス（事後保全と予防保全）を行い、長寿命化と村財政の負担軽減を図ることで、安全かつ安心して暮らせる村を目指していきます。



大規模修繕を行う第二前川橋

## ■温泉・特産事業所の取組み

目指すべく 10年後の村のかたち

**10年後も安心・安全・安定した事業所運営を目指して！**

村民が安心して利用できる安全な職の提供と、安定した温泉供給のためには、各施設（特産品センター、養魚場、交流センター、温泉施設）の設備等の老朽化、人手・後継者不足、温泉湧出量減少等の多くの課題があります。それぞれ



調査を予定している2号源泉

の課題解決に向けて計画的に人材の確保、各施設の維持修繕及びメンテナンス等を実施し、村民へ安心、安全な食（特産品）の提供及び安定した温泉の供給の継続を目指します。

## ■ 観光施設事業所の取組み

目指すべく 10年後の村のかたち

### Welcome to beautiful 尾瀬, Let's Climb 百名山

尾瀬・燧ヶ岳・会津駒ヶ岳のすばらしさを知ってもらい、入山者数を増やすことで地域全体を活性化させるとともに、事業所の売上UPを図ることで繰入金から積立金へシフトします。



## ■ 教育委員会の取組み

目指すべく 10年後の村のかたち

### 小さな村で大きく学ぶ子どもを育む

村に愛着のある人たちが村に集い、開かれた教育のもと、村に魅力を感じる子どもを育てるため、中学校卒業までの学びを通して親元を離れても社会を生き抜く力を育み、少人数だからできる教育を進めます。また、子どもや若者だけ



だけでなく、保護者や村民の意識改革も必要です。

大人が村の魅力に気づき、素直に村を愛することで子どもや若者が必然的に村に戻り、自分たちの村を愛する。この意識改革が「村続」へと続いていくことを目指します。





令和 7 年 3 月作成

檜枝岐村